

Ciné-là

11

シネラ・ニュース
January.2009 No.147

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

特別企画

川島雄三監督特集

45才の若さで亡くなった日本映画史に残る鬼才・川島雄三の
代表的作品を特集。



洲崎パラダイス赤信号



喜劇とんかつ一代



しとやかな獣



女は二度生まれる



青べか物語

川島雄三監督特集

別企

45才の若さで亡くなった日本映画史に残る鬼才・川島雄三の代表的作品を特集。



女は二度生まれる

会期：1月7日(水)～31日(土)

※休館日・休映日を除く

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制。各回入替制。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※障がい者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。
(手帳の提示が必要です。)

※「わの会」会員は300円(会員証の提示が必要です。)

フィルム・写真提供：日活株式会社 角川映画株式会社
東宝株式会社

共催：コミュニティシネマ支援センター

(財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)

8【木】11【日】
19:00 14:00
16【金】
14:00

洲崎パラダイス 赤信号

頼る行く当てもなく上京した義治と葛枝は、東京の洲崎遊郭の入り口にある飲み屋「千草」に転がり込む。葛枝は「千草」で働き、義治は近くの蕎麦屋で働くのだが、人生に希望を持ってない義治は失敗ばかりだった。そして葛枝は馴染み客と仲良くなり、義治に黙って別のアパートに越してしまう。葛枝と義治の何ともいえない男女の腐れ縁的な関係が洲崎遊郭近辺の人々の人間模様と共に描かれる。川島監督は「幕末太陽傳」よりもこの作品の方が気に入っていたという。

1956年/35ミリ/モノクロ/81分/日活



監督：川島雄三
出演：新珠三千代 三橋達也

8【木】12【月祝】
14:00 14:00
22【木】24【土】
19:00 14:00

暖簾

15才の吾平は淡路島から大阪にやって来る。吾平は昆布商の浪花屋利兵衛に助けられ、商人としての根性をたたき込まれる。そして暖簾分けされた吾平は働き者のお千代と結婚、子宝にも恵まれ商売も繁盛する。しかし戦争により商売ができなくなり、長男は戦死してしまう。山崎豊子のデビュー作である同名小説の映画化。森繁久彌が吾平と息子の孝平の二役を見事に演じる。川島監督の歯切れの良い演出も素晴らしい傑作。

1958年/35ミリ/モノクロ/123分/宝塚映画



監督：川島雄三
出演：森繁久彌 山田五十鈴

9【金】12【月祝】
14:00 11:00
17【土】31【土】
17:00 11:00

貸間あり



監督：川島雄三
出演：フランキー堺 淡島千景

大阪。古ぼけた屋敷に間借りする五郎は4カ国語を話し、小説の代筆から翻訳まで何でもこなすよろず引き受け業をしていた。ある日陶芸家のユミ子が発見会のパンフレットの文章を五郎に頼みに来る。ユミ子は五郎が気に入り、屋敷に引っ越してくるのだが、そこには三人の旦那を持つお千代や骨董屋の夫婦など奇妙な人々が住んでいた。五郎とユミ子を中心に、屋敷に住む大勢の人々のドラマが騒々しいまでのテンポで描かれる、川島監督でなければ作れないコメディ映画。

1959年/35ミリ/モノクロ/112分/宝塚映画

9【金】18【日】
19:00 14:00
28【水】
14:00

グラマ島の誘惑

敗戦直前の昭和20年、米軍に軍艦を撃沈された海軍大佐・為久と弟の陸軍大尉・為永はグラマ島に漂着する。生き残ったのは二人の外に部下の兵藤と5人の慰安婦を含めて11人だけ。皇族である為久は宮様と呼ばれ、島の王のように振る舞い奇妙な共同生活が始まるのだった。川島監督初のカラー作品。南洋の島が絵の具箱をひっくり返したような極彩色で描かれ、ドギツイほどの風刺が込められたコメディ映画。



監督：川島雄三
出演：森繁久彌 フランキー堺

1959年/35ミリ/カラー/105分/東京映画

15【木】17【土】
14:00 11:00
25【日】30【金】
11:00 19:00

女は二度生まれる

東京の九段に住む芸者の小えんは自由奔放な女性で、建築士の筒井、寿司屋の板前の野崎など多くの男性と関係を持っていた。しかし売春防止法により小えんの働く置屋が警察に摘発され、やむなくバーに働きにでる。バーで小えんに再会した筒井は、彼女を愛人としてアパートに住ませ、手に職を持ち自立した生活を送ることを勧めるのだった。本作は原作の選定に若尾文子も参加し、魅力的な芸者の小えんを作り上げている。



監督：川島雄三
出演：若尾文子 山村聡

1961年/35ミリ/カラー/99分/東京映画

10【土】16【金】
14:00 19:00
29【木】
14:00

花影

銀座のバーで働く葉子は西洋美術を教える松崎の愛人だったが、棄てられてしまう。昔からの仲間であるバーのマダムの潤子は、葉子をバーのマダムにする。やがて弁護士の畑と関係を持つ葉子。そしてテレビプロデューサーの清水、葡萄酒会社社長の野方などと関係を持っていく。人の良い主人公が、様々な男達との関係の中で次第に希望を失っていく様が描かれる。長く映画から遠ざかっていた池内淳子が本作で本格的に映画界に復帰する。



監督：川島雄三
出演：池内淳子 佐野周二

1961年/35ミリ/カラー/99分/東京映画

21【水】14:00 23【金】19:00
25【日】14:00 31【土】17:00

雁の寺

京都の禅寺。そこは襖に描かれた親子雁の絵から「雁の寺」と呼ばれた。雁を描いた絵師の愛人・里子は絵師が亡くなった後、好色な寺の住職・慈海に面倒を見てもらう。寺には慈海に厳しく躰られる若い僧・慈念がいた。慈念は慈海と里子の営みをのぞき見る。直木賞を受賞した水上勉の同名小説の映画化作品。若尾文子の匂い立つような色気とサスペンス溢れる演出が見る者を圧倒する。



監督：川島雄三
出演：若尾文子 三島雅夫

1962年/35ミリ/パートカラー/98分/大映

10【土】11:00 22【木】14:00
30【金】14:00

青べか物語

江戸川の河口近くの漁村に「先生」と呼ばれる文士がやって来る。「先生」はしばらくここに滞在し執筆をすることに。そして老人から舟を売りつけられ、のんびりと釣りをして暮らす。小料理屋に働く威勢のいい女達、廃船で寝泊りする老人、バクチ場の男達など様々な人間模様を「先生」は観察する。原作は山本周五郎。舞台は現在の浦安近辺で、田舎の人間模様や生活感が描かれ、のんびりとした叙情味溢れる作品。



監督：川島雄三
出演：森繁久彌 フランキー堺

1962年/35ミリ/カラー/100分/東京映画

17【土】14:00 24【土】17:00
29【木】19:00 31【土】14:00

しとやかな獣

団地に住む元海軍中佐の前田時造は芸能プロに勤める息子の実を金を横領させ、娘の友子を小説家吉沢の愛人にして金を貢がせていた。実は会社の会計係の幸枝と関係を持っていたが、幸枝は実を金を貢がせ目標の金額が貯まったところで別れようとする。守銭奴のような一家と、若尾文子演じる悪女との金の為にはモラルなど必要ないともいうような騙し合いが描かれる。強烈な登場人物とストーリーのブラック・コメディだが、時折挿入される実験的な映像なども目を引く川島監督の代表作の一つ。



監督：川島雄三
出演：若尾文子 伊藤雄之助

1962年/35ミリ/カラー/96分/大映

10【土】17:00 18【日】11:00
23【金】14:00

喜劇とんかつ一代

上野のトンカツ屋「とん久」の久作は、フランス料理で仕込まれた腕前でトンカツを作る。久作の女房は以前彼が働いていた青竜軒の Cock 長・伝次の妹だった。伝次の悩みの種は息子の伸一で、親の言うことを聞かず新しいレストランの経営を夢見ていた。その伸一の恋人は「とん久」に出入りする豚殺しの名人・仙太郎の娘だった。東宝のスターが大勢登場するコメディ映画の傑作。それぞれの人物のエピソードをそつなくまとめる川島演出が光る。



監督：川島雄三
出演：森繁久彌 フランキー堺

1963年/35ミリ/カラー/94分/東京映画

7【水】14:00 11【日】11:00
24【土】11:00

幕末太陽傳



幕末の品川遊郭。佐平次は相模屋で遊び放題で過ごす。実は一銭も持っておらず、結局相模屋で働いて返すことになる。陽気な佐平次は按摩や時計の修理など何でも器用にこなす。遊女の相談相手までしてしまい次第に便利な男として重宝される。一方相模屋には高杉晋作らの勤皇の志士が出入りしており、英国公館の焼き討ちを計画していた。

本作の物語は落語の「居残り佐平次」「品川心中」「芝浜」を元にしており、そこに御殿山外国公館焼き討ちなどの史実を織り交ぜて創作されたオリジナルである。史実と落語が見事に融合した脚本も見事だが、主演のフランキー堺のスピード感溢れるエネルギッシュな演技は他では見られない見事なものである。石原裕次郎が高杉晋作を演じ、フランキー堺と好対照をなす。南田洋子、小林旭、岡田真澄など共演者も豪華の一言。川島雄三監督の代表作であり、日本映画最高の時代劇コメディと評価される傑作である。



監督：川島雄三
出演：フランキー堺 石原裕次郎

1957年/35ミリ/モノクロ/110分/日活

川島雄三監督について



川島雄三は1918年青森県に生まれる。家は江戸時代から続く商人であり、三男三女の三男だった。中学の時巡回上映で見た「イントレランス」に感銘を受け明治大学に進学。映研に所属し、映画評を書いたり「五人の斥候兵」にエキストラ出演などをする。38年に卒業、松竹に助監督として採用される。「愛染かつら」「戸田家の兄弟」などの助監督の後、44年「還って来た男」で監督デビューする。ナンセンス喜劇や社会風刺に才能を発揮し、注目を浴びる。

戦後、製作を再開した日活に助監督だった今村昌平、中平康をつれて移籍。57年には川島監督の最高作とされる「幕末太陽傳」を監督する。その後東宝傘下の東京映画に移籍、山崎豊子原作の文芸映画「暖簾」、大阪庶民のバイタリティ溢れる「貸間あり」などの秀作を監督。61年には大映で「女は二度生まれる」を監督。この時期東京映画と大映で交互に作品を作るが、大映で製作された「女は二度生まれる」「雁の寺」「しとやかな獣」の三本は川島監督の才能が結実した作品となった。63年急死。青森県恐山の麓にある川島監督の墓には「貸間あり」で桂小金治が立ち小便しながら言う「サヨナラだけが人生だ」のセリフが刻まれている。

助監督についた今村昌平によれば川島監督は松竹入社後から右足が不自由となり、右手も不自由になった。今村監督はこれを「進行性筋萎縮症」と記している。川島監督は死の予感を持ちながら、自らを「日本軽佻派」「戯作者」と称した。そして日本映画史に特異な作品を残し、わずか45年の生涯を閉じたのだ。



「貸間あり」

1月

09 上映スケジュール

12/28日

年末年始の休館日

1/4日

5月

休館日

6火

休映日

川島雄三監督特集

7水	14:00 幕末太陽傳	
8木	14:00 暖簾	19:00 洲崎パラダイス赤信号
9金	14:00 貸間あり	19:00 グラマ島の誘惑
10土	11:00 青べか物語	14:00 花影
11日	11:00 幕末太陽傳	14:00 洲崎パラダイス赤信号
12月祝	11:00 貸間あり	14:00 暖簾
13火	休館日	
14水	休映日	
15木	14:00 女は二度生まれる	
16金	14:00 洲崎パラダイス赤信号	19:00 花影
17土	11:00 女は二度生まれる	14:00 しとやかな獣
18日	11:00 喜劇とんかつ一代	17:00 貸間あり
19月	休館日	
20火	休映日	
21水	14:00 雁の寺	
22木	14:00 青べか物語	19:00 暖簾
23金	14:00 喜劇とんかつ一代	19:00 雁の寺
24土	11:00 幕末太陽傳	14:00 暖簾
25日	11:00 女は二度生まれる	14:00 雁の寺
26月	休館日	
27火	休映日	
28水	14:00 グラマ島の誘惑	
29木	14:00 花影	19:00 しとやかな獣
30金	14:00 青べか物語	19:00 女は二度生まれる
31土	11:00 貸間あり	14:00 しとやかな獣
		17:00 雁の寺

コラム
フィルム・アーカイヴ担当者から

福岡市総合図書館は、「フィルム・アーカイヴ」の機能を持つ世界的にもユニークな施設です。ですが、そのこと以上に価値を持つのは、世界で唯一、収集する映画フィルムをアジアに特化していることです。フィルム・アーカイヴの業務・活動ですが、映像フィルムなどを収集し、良好な環境で保存(適切な温度、湿度管理で劣化を防止)したり、修復して後世に残すことはもちろん、【シネラ】のように市民の皆様映像を上映・公開することも含まれます。

福岡市総合図書館は、国際フィルム・アーカイヴ連盟(略称FIAF。70数カ国、約140施設)に加盟しています。日本国内の加盟施設は東京国立近代美術館フィルムセンターと福岡市総合図書館の2つだけです。

今回は最近のアーカイヴ活動の一部をご紹介します。時々、福岡市に関する古い映像の問い合わせがあります。昭和20年代の福岡市の街並みや西鉄の市内電車が走っている映像はないか、といった内容です。劇映画は映画会社に著作権がありますので自由に使用はできません。最近では古い映像を販売する映像アーカイヴの会社もあるのですがこれはもちろん有料ですし、必ずしも福岡の映像があるとは限りません。これらの古い映像資料はもともと少ないのですが、それもテレビ局などから預かっている16ミリフィルム、ビデオテープで、著作権はテレビ局にありますし、最近では郷土の古い映像は貴重なものになってきているので簡単に利用できないのです。私たちフィルム・アーカイヴに携わるものは、8ミリや9.5ミリなどで郷土に関する古い映像をお持ちの方には是非ご寄贈いただき、後世に残していきたいと願っています。

ところで、この夏、佐賀大学の田中教授が古い35ミリフィルムを持って来られました。唐津市の安養寺住職だった故善乗運氏が1933年に製作した、「虹の松原一揆」を題材としたサイレントの時代劇とのことでした。主演は中根龍太郎。マキノプロダクションに監督・俳優として所属していた人です。今で言う自主製作ですので、日本映画史に載っている作品ではないでしょう。しかし当時の虹の松原や唐津の風景がはっきりと映像に残っています。残念なのはフィルムがバラバラに分解されていて、ストーリーが不明なことでした。欠落しているシーンもあるようです。私たちはこの映画の保存と復元に協力していますが、脚本などの資料がないため田中教授はこの映画の物語を覚えている人を探されています。この映画の記憶がある方はぜひ福岡市総合図書館映像資料課までご連絡下さい。



虹の松原一揆

次号予告

通常上映 福岡県・ハノイ市友好提携1周年記念

ダン・ニャット・ミン監督とベトナム映画

ベトナムを代表するダン・ニャット・ミン監督とベトナム映画の名作を上映。

会期：平成21年2月4日(水)～3月1日(日)

上映作品：「河の女」「グアバの季節」「パオの物語」「無人の野」など
全19作品。



グアバの季節



パオの物語

◆◆◆福岡日伊協会映画鑑賞会◆◆◆

『眺めのいい部屋』(1986年制作・117分)

監督：ジェームス・アイヴォリー／出演：ヘレナ・ボナム・カーター、ジュリアン・サンズ他

日時：2009年1月9日(金)19:00～21:00 ※入場無料・先着120名

会場：あじびホール(福岡アジア美術館8F) TEL092-263-1100

主催：福岡日伊協会 TEL092-476-2153(西日本シティ銀行内)

協力：財団法人福岡文化財団

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄

●西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

- 天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約20分)
- 博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間：昼間で約25分)
- 福岡タワー南口バス停から徒歩3分
所要時間は交通事情により異なります。
お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là
福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)：092(852)0600

映像資料課：092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラHP <http://www.cinela.com>